



## 無線綴機、中綴じ折り機の導入による生産性向上を図る

印刷工程において、弊社で1番の課題であったのが、最後の仕上げ工程。その生産性向上を図るため、無線綴機、中綴じ折り機を最新モデルの設備に変えることとした。新たな機器の導入により、大幅な短納期化が実現しただけでなく、品質安定による高精度化、ロスの削減も図ることができた。

### 取組の背景 Background of efforts

近年、印刷物の受注スタイルも多様化している。大量印刷が減少し、小ロットのカラー印刷の受注が増加傾向にある。従来の機器では製本のゆがみや背のズレなどの他、短納期化や負担軽減が課題となっていた。そこで、新たに設備導入することで、生産工程の改革や従業員の負担減、新規ニーズへのアプローチを構築し、より時代のニーズに合った業務推進をする必要があると考えた。

### 事業の実施内容 Implementation content

四国で弊社だけの技術となる、フェリーの舟券などに利用されている特殊ナンバリング・ミシン加工。この技術は弊社の強みである。その強みを生かしながら、さらなる他社との差別化を図り、生産プロセスを改善するために新規設備を導入すること

とした。中綴じや折加工、製本など印刷物の作業工程において、最後の「仕上げ工程」となる工程改善に注力した。それにより、課題としていた時間短縮や短納期化、生産性の向上、人員負担の軽減が実現し、新規依頼にも柔軟に対応できるようになったことで受注幅も広がった。

### 事業の成果 Achievement

#### 【無線綴機】

従来機ではドライバーや六角レンチを使用し、30分～1時間程、時間を要したが、全てコントロールパネルの入力だけで2～3分に短縮が可能となった。製本ロスも5%から1%に減少。製本速度も450冊/時から1,350冊/時になり、約3倍ほど生産向上し、品質も安定。短納期化が可能となった。

#### 【中綴じ折り機】

製本速度においては、同じ印刷で比較しても従来

1,500冊/時から4,500冊/時と速度アップが図れた。また、製本だけで24時間かかっていたのが、10時間と時間短縮ができた。全行程から見ても従来より3分の1の時間で完了。

本事業の機器導入により、仕上げ工程の課題を克服し、それ以上の高度生産性向上を図ることが期待できる。

### 5 力年計画 Five-Year Plan

これまで既存の顧客から納期の関係上、受けられなかった案件も受注が可能となり、生産性アップを目指す。また、近年増加傾向にある同人雑誌や自費出版物などの受注拡大を目指し、小ロットの受注も積極的に取り入れることで、全体の売上を伸ばしていく。またPUR製本については、糊部分の交換作業はあるが、製本したものが180度開くことが可能なため、新しい製本技術として今後顧客開拓ツールとして活用できる。180度開くことで、本の真ん中(のど部)が見やすく、文字はもちろんのこと見開き写真や地図などにも歪みなく正確に見れる利点から、需要ニーズが高まると想定される。そういった弊社の強みを生かし、今後は新規顧客をさらに拡大していき利益向上を目指す。

#### 【本事業による売上目標】

(千円)

1年目	2年目	3年目	4年目	5年目
110,000	125,000	140,000	150,000	155,000



印刷の喜びや感動、素晴らしさを1人でも多くの人に伝えていきたい



社長の息子さんである2人。それぞれ、違う分野で働いていたが、父の背中を見ながら育ち、今後もこの会社を支えたいと一念発起。現在は営業や配達などさまざまな業務を担う。「これからの会社の未来を輝かせるためにもみんなで力を合わせて頑張ります」と目を輝かせる。「向進舎印刷所」の未来は明るい。

## COMPANY PROFILE

所在地	〒762-0011 香川県坂出市江尻町772-5
TEL	0877-46-5688
設立	1954年1月
代表者	三崎屋 雅之
業種	印刷業
従業員数	10名
事業内容	印刷製本業



代表取締役  
三崎屋 雅之

時代の流れを敏感に察知しながら、これからの「印刷」の感動を伝えたい

弊社は創業1954年、地域密着型の印刷所です。近年インターネットの普及をはじめ、時代はスピードを上げて進化しており、今や世界中から情報が手に入る時代です。だからこそ、我々にもチャンスがあると捉え、印刷が「人と人を結ぶ大切なツール」として、情報産業を担

う一端として新たな取り組みでお客さまにご提案、ご提供ができる環境づくりを常に心がけております。これまでの信頼と実績を胸に、時代のニーズに応え、これからも印刷を通して、喜び、感動をお届けします。